

From JPMA

日本再興の一翼を担う基幹産業として

日本は世界第3位、アジアにおいてはNo.1の新薬創出国であるものの、研究開発環境の面では国際競争力に優れているというには不十分な状況です。こうした中、2013年6月に、医薬品を含む健康長寿産業を戦略的分野のひとつと位置付けた「日本再興戦略」が閣議決定されるとともに「健康・医療戦略」がとりまとめられ、健康長寿社会の実現、経済成長への寄与、世界への貢献を基本的理念とした、新技術・サービスの創出と基盤整備、国際展開が謳われています。私たち製薬産業は、革新的で有用性の高い医薬品を創出し続けることで、人々の健康と福祉の向上に貢献するとともに、日本再興の一翼を担う基幹産業として『創薬立国 日本』の実現に注力していきたいと考えています。（11月28日 製薬協フォーラムより）



日本製薬工業協会
会長 手代木 功

日本製薬工業協会(製薬協)

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者参加型の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。